

尾原ダム地域活性化の取組

～地域とともに10年、そしてこれからも～

1 社会資本の概要

島根県雲南市と奥出雲町に跨るように建設された尾原ダム(さくらおろち湖)は、神話「ヤマタノオロチ」のモデルとして知られる一級河川斐伊川の上流に位置する多目的ダムです。島根県の県庁所在地である松江市や斐伊川下流に位置する出雲市の洪水浸水



尾原ダム

多くの人が来場する
クレストゲート点検放流イベント

被害の軽減等を目的に、平成24年3月に完成。防災・利水・環境を担うダムとしての機能の他に、ダム湖や周辺里山を活かした各イベントの中心となっており、多くの方に親しまれています。

2 取組の背景、取組概要と創意・工夫

尾原ダムを中心とする地域においては、ダム完成以来「地域に開かれたダム」、「つなげよう、育てよう、活かそう<さくらおろち湖>」を柱として活動を展開しています。尾原ダム水源地域ビジョンに計画されている事業について、47団体からなる「さくらおろち湖活性化ネットワーク会議」で議論・協調を図りながら、若い世代の発想も大切にしながら新たな取り組みにも挑戦しています。人の移動が制限されたコロナ禍には、

来場を心待ちしていたダムマニア向けに、点検放流イベントをYouTubeでライブ配信するなど活動の継続に努めました。

また、ダム完成から10年を迎えた令和4年度には、10周年記念ロゴマークを記したポロシャツや横断幕、懸垂幕を作成し、地域が一体となって尾原ダム完成10周年を盛り上げました。



地域住民や活動団体で協議調整を行い、取組内容を決定

尾原ダム完成
10周年記念ロゴマーク

10周年記念イベントの様子

さくらおろち湖活性化ネットワーク会議／

中国地方整備局 出雲河川事務所 島根県 雲南市・奥出雲町

3 活動の成果や波及効果等

尾原ダム周辺で開催されているトレイルランニングレース、トライアスロン大会やレガッタ大会は、年々参加者が増えており、2030年に開催予定の「島根かみあり国民スポーツ大会」ではローイング(ボート)会場として選定されるなど、尾原ダム(さくらおろち湖)を含む周辺地域の地域活性化や知名度向上にもつながっています。

また、ダム湖まつりや点検放流イベント、ダム湖周辺の清掃活動は、斐伊川全体を巻き込んだ上下流域の交流イベントとしても定着してきています。

さくらおろち湖を利用した
トライアスロン大会尾原ダムさくらおろち湖周辺
の美化活動国民スポーツ大会
ローイングコース
(2030開催予定)
を滑走するレガッタダム湖まつりで松江市から
借り受けた、松江堀川
遊覧船

喜びの声



受賞者

さくらおろち湖活性化
ネットワーク会議
事務局

コメント

このたびさくらおろち湖活性化ネットワーク会議が令和5年度「手づくり郷土賞」に選定されたことは、尾原ダムが完成し10年、さくらおろち湖周辺や尾原ダムを活用した上下交流イベントを地域の皆様や団体が実施してきたことを全国的に認められたものと喜んでいます。

これからも、尾原ダム建設にご協力いただいた方々の想いを大切にしていきたいと思っています。

活動の内容

- まちづくりの推進活動
- 社会教育活動
- スポーツ振興活動
- 環境保全活動
- 地域イベント情報の発信

活動の経歴

平成24年 10月 さくらおろちを活性化する会設立
令和 2年 1月14日 さくらおろち湖活性化ネットワーク
会議に改組

所在地

島根県雲南市木次町平田

活動主体及び連絡先

さくらおろち湖活性化ネットワーク会議 事務局
TEL:0854-48-9050
E-MAIL:katuyoukyou@yahoo.co.jp

対象となる社会資本

尾原ダム・さくらおろち湖

